

# 「子育て」語る明橋氏

豊橋保育協会母の会連合会研修会

コミュニケーションで子どもらに自信



子育てについて語る明橋氏＝豊橋市公会堂で

豊橋保育協会母の会連合会(深谷美奈会長)と豊橋保育協会(中島章裕会長)主催の「研修会」が24日、豊橋市公会堂で開かれた。乳幼児の保護者が子育てに関する講演を聴講した。

研修会では深谷、中島両会長や来賓あいさつに続き、真生会富山病院心療内科部長で子育てに関するTV番組出演も多い、精神科医の明橋大二氏が「子育てハッピーアドバイス」子育てがラクになるコツ教えます」と題して講演した。

明橋氏は、今の子どもを持つ問題として「自己評価の極端な低さ」をあげ、アメリカや中国に比べて日本の子どもたちの自己評価の低さを紹介。要因として、虐待やいじめ、家族との関わりが希薄をあげ、「しつけや勉強の前に、子どもにとって一番大切なのは自己評価。どうせ」というサインには注意が必要」と話した。

また、「子どもの心は依存と自立の繰り返しで成長する」とし、「充分甘えることで安心感を得た子が自立できる。してはいけないのは過干渉と放任。子どもの心は、手のひらの中の卵と一緒に、締め付けると壊れ、放っておいても転がって壊れてしまう」などと説き、スキンシップや話を聞くこと、ほめることの大切さを説いた。

参加者は、今後の子育ての参考にすべく、熱心に聴講していた。(田中博子)

2012年(平成24年)1月18日(水曜日)

## ブリの解体に興味津々

豊橋明照保育園で実演

園児ら魚屋さんについて勉強

いつも食べる魚は、こつやつと料理するんだね。豊橋市牟呂中村町の明照保育園(中島章裕園長)で17日、ブリの解体実演があり、年長児57人が魚屋さんの鮮やかな包丁さばきに目を見張った。

実演は食育の一環で、給食用の魚を卸す「魚治」(同市南栄町)の協力で、年中と年長の園児を対象に昨年から行っている。魚治本店の柴田憲男店主は、この日のため、8歳の長崎産天然ブリを用意。頭を落とし、身の部分を3枚におろした後、素早く刺し身に切り分けた。



ブリの解体に興味津々の園児ら＝明照保育園で

園児らは手際の良さに歓声を上げ、「魚の顔が見たい」と机の周りに駆け寄り、大きな魚の頭を興味津々で見つめていた。一方、魚屋さんについて勉強した園児からは積極的な質問も。柴田店主は「骨があつて食べにくい魚もあるが、全部おいしい魚ばかり。嫌いな魚はない」と呼びかけた。

また、園児たちは煮付けたブリを食べておいしさも実感した。同園では昨年も実演後、皆が魚に興味を持ち、給食も残してはいけないうちと思ふようになった。一層、魚や職業に関心を持って欲しい」と期待する。

31日には年中児向けに解体を行う予定。(田中博子)